

## 飼い主のいない猫の課題解決について

### ～地域猫活動の取り組み～

#### 1 概要

本市では、飼い主のいない猫がみだりに繁殖及び増加することを抑制し、公衆衛生の向上を図り、もって動物の愛護及び管理についての理解を深めることを目的として、飼い主のいない猫に去勢・不妊手術を受けさせる市民に対して、手術費用の一部を助成しております。

しかし、飼い主のいない猫については、地域のトラブルに発展するなど、ご相談も多く寄せられております。

助成金利用去勢・不妊頭数	相談件数
1,136匹（雄498匹、雌638匹）	878件

(2018年度～2019年度)

#### 2 これまでの取り組み

飼い主のいない猫去勢・不妊手術助成における取り組みとしては、これまで、助成額の増額や、自治会等からの申請枠の新設、登録ボランティアによる協力体制の構築、さらには、自治会等へのパンフレット配布や広報紙・ホームページへの掲載など、市民のニーズに応じ、助成事業の拡充並びに周知啓発に取り組んでまいりました。

#### 3 次年度の取り組み

地域が抱える飼い主のいない猫に関する課題の解決を目指し、この度あらたな取り組みとして、「明石まちなねプロジェクト」を設け、これまでの助成金制度を重点的に活用しながら、地域・ボランティア・民間・行政が一体となり、地域コミュニティの再生や、地域環境の改善、人にも動物にもやさしく、暮らしやすいまちの実現に向けた取り組みを推進してまいります。

主な活動内容としましては、まずは市内でモデル地域の選定を行い、地域住民、自治会等やボランティア、さらには、獣医師会や関係団体等からの協力をいただきながら、モデル地域内における周知・合意形成に取り組んだ上で、助成金を活用した手術の実施、その後の見守りなどを行ってまいります。

#### 4 その他

今後につきましては、モデル地域内における効果の検証を行い、状況を踏まえながら、市内全域に活動を広げ、基金や寄附金などの設立を検討してまいります。